

春風の便り

03
VOL



皆様の声を形にします! 市民が中心の市政を行うために

市役所の中を奔走

市議会議員とさせていだいて早、1年が過ぎました。日々寄せられる多種多様な相談を解決するために、市役所内をうろちまわっています。あまりに違和感がなかったのか、訪れた市民の



6月19日に 3度目の一般質問

方から職員と間違われ「*課はどこですか?」と尋ねられたことも…。議員に見えないのでしょつね(笑)

1年目は2回の一般質問を経験させていただきました。いずれも日頃の市民や職員との対話の中から、広がった問題意識を基に質問内容を創ることができました。

1回で30分という短い時間と、年間2回という限られた中で

質問です。より価値あるものとするためには、私人の思い込みではなく、多くの視点が必要で「私は〜がおかしいと思っ、これが知りたい」という声を、どんどんお寄せください。

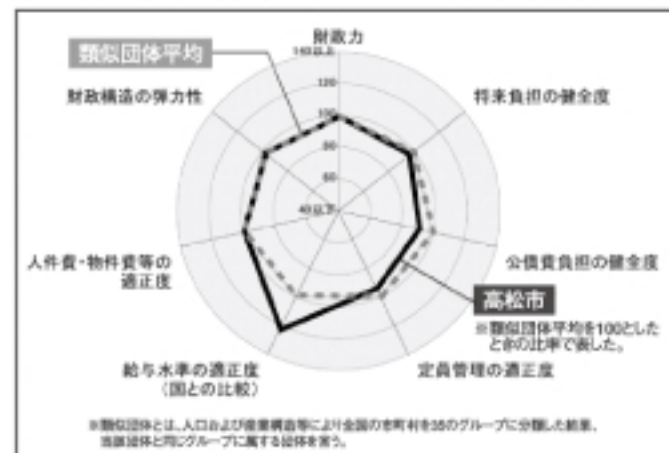
「夕張市のようにならないの?」 財政事情は100点満点でいえば70点 (春田の眼)

議員となり、私自身も一番に気がなりました。そして多くの方と対話をしていても必ず聞かれたことは「夕張のように高松市も倒産するのではないか?」との質問です。

数字が並んでいても分かりにくいので、総務省がホームページで公開している「比較可能な」データとしてまとめられた、市町村財政比較分析表を見ました。

同じような規模の市の平均を100とした円で、各指標の数字が、それより大きければ良い指標であり、小さければ悪い指標です。このグラフから見て分かるのは、平均的であるといつこと。でも安心できないのは、類似団体もみなそろって、

今年から、議会の模様をインターネットのホームページからも観られるようになりました。



A

今までよりも安くなった保険料
 年金額200万円以下の大半
 本当に必要なのは、健康寿命を延ばす知恵

テレビのワイドショーを見て
 いると「後期高齢者医療制度
 は現代の姥捨山のような愚政
 だ！」との報道が朝から夜まで
 溢れていて、その偏りに大いに
 憤りを感じています。報道の役
 割とは、正確に情報を伝えるこ
 とが最も重要なのではないで
 しょうか？不安を煽る、国民を
 扇動するような報道はおかし
 いと思います。

問題は何 なのだろう？

春田は市議会議員として、医
 療をとりまく環境のどこに問
 題があるのかを明らかにする
 ことが大切であると考え、高松
 市の医療を取り巻く環境を調
 べて見ました。「認識なくして
 評価なし」の精神が大事です。

10年で約1.8倍に 年々増加する医療費

高松市の国民健康保険にお
 ける医療費のデータを取り

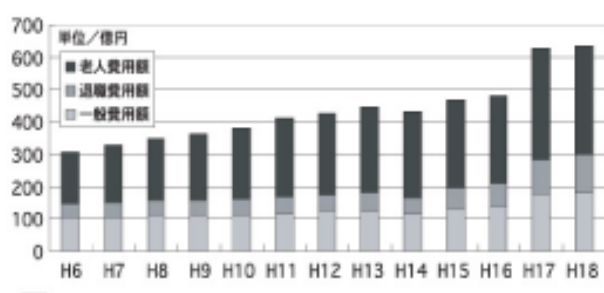


図1 高松市の国民健康保険医療費の推移

平成18年の医療費は約635
 億円もの大金を要しているの
 です。これには会社勤めの方の
 社会保険による医療費などが
 含まれていませんから、約
 900億円近くが高松市では
 医療に使用されているのです。
 高松市の一般会計の予算が1、

制度の問題点！

340億円規模ですからそれ
 に迫る金額なのです。
 平成8年の医療費(350
 億円)に比べると、わずか10年
 で約1.8倍になっているので
 す。さらに年々増大しているこ
 とがグラフを見ると分かります。
 (*注 平成17年に合併)

急激に進む超高齢化 老人医療費が半分 を占める

医療費の内訳をみると、老人
 医療費はその合計の半分を占
 めているのが分かります。これ
 から団塊の世代の方が退職し、
 75歳を迎えるころには、更に医
 療費に占める老人医療費が増
 大します。更に20年後の国民
 医療費には現在の3倍になる
 との予測もされています。

75歳以上の高齢者の 医療費は現役の3.6倍

被保険者1人当たりの医療
 費を比較(図2参照)すると、
 平成18年では、現役である一般
 が24万7千円、退職者が41万6
 千円、老人が89万千円となっ
 ており、75歳以上の高齢者の医療
 費は、現役世代の約3.6倍と
 なっているのです。

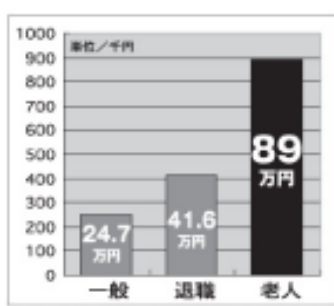


図2 平成18年度被保険者1人当たりの費用額

病院や薬メーカーが 得をしているのではない！

医療費が増えているのは、厚
 生族が医師を優遇しているか
 らだ！と主張する声も聞かれ
 ますが、平成10年から22年に
 一度、診療報酬単価は下げ続けら
 れているのです。医療費増大の
 原因は、被保険者1人当たりの
 件数をまとめると良く分か
 ります(図3参照)。平成18年
 では、一般の11.2回に対し、老人
 は27.2回と2.4倍も多く治
 療を受け、それもだんだん件数
 が増えているのです。医療費増
 加の主な要因は単価ではなく
 件数なのです。特に高齢者が病
 院に行く件数が問題なのです。
 皆が苦しくなっているのでは
 ないのです。

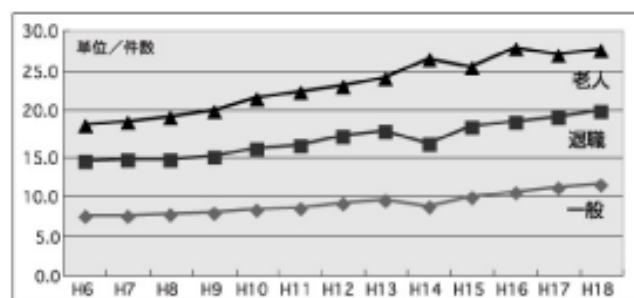


図3 被保険者1人当たり件数

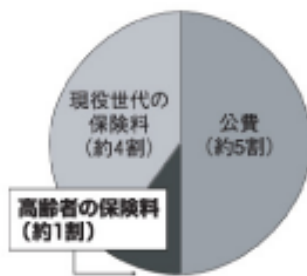


図4 後期高齢者医療制度の財源

医療費は誰かが払わないといけません

よく「***さんは、具合がわるいから今日は病院にきていない」と揶揄されています。果たして昔に比べて今は病気が増えたのでしょうか？

もちろんお婆ちゃんに病院に行くなど言っているわけではありません。いずれにしても、増大が見込まれる医療費の負担を誰かがしないとけません。お爺ちゃんが払いたくないと言えば、その子供が孫が払わないといけません。国の借金が850

兆円にもなり、国民1人当たり665万円にもぼる時代で、全ての負担を次の世代に覆いかぶせていいのでしょうか？

今回の後期高齢者医療制度は、日本が誇る「国民皆保険制度」を維持し、未来にも続けるためのものなのです。そのためにも老人医療の半分は税金から、4割は現役世代から、残りの1割を高齢者で担う(図4参照)と決めたものなのです。

高松市では 年額200万円が分水嶺

まして今回の改正では、所得の低い方を守るために、検討されている、高松市では年額200万円以下の方の大半は、今までの保険料より安くなるようになっているのです。これは対象者の約7割を占めているのです。このことをマスコミは正しく伝えないといけません。そして政治は負担をお願い

長期医療制度の問題点は？

年々増加する、国民医療費

- 老人医療費が全体の半分以上を占める
- 老人一人当たりの医療費は現役世代の3.6倍
- 老人一人あたりの件数の増加が主要因

3つの解決策

行政のムダを省く

当然のごとく、削減した費用を福祉に充てる。政治の監視を強化する。

医療費の削減

病院にかからず、健康で元気に暮らせる社会にする。健康寿命を延ばす工夫!

皆で支えあう

痛みを分かち合い、社会福祉とは何かを再考し、選択する。

どれか一つを進めるべきではない。

もつとみんな、豊かな高齢化社会とは何かを真剣に考え、声を上げる必要があると思います。

また、社会・地域全体で高齢者のイメージを変えなければならぬのではないのでしょうか。仕事、趣味、ボランティア、子育て支援、などでもっと高齢者に活躍の場を与え、地域で役に立つてもらったことが大事です。社会参加を促すことが心身ともに健康で元気な高齢者を増えることになり、世代間のつながりを回復することにもなります。

Q 長寿医療 (後期高齢者医療)

し、解決の方針を示さないといけません。

解決の方向は、負担増よりも医療費削減!

これから医療保険も介護保険も、税金など社会保障の負担が上がることはかりーこんなことでは庶民は暮らして行けません。そこで大事なことは、如何にして医療費を抑制するか! ジェネリック薬(特許の期限が切れた安い薬)を使うこと

健康寿命を伸ばす

健康寿命を延ばす取り組みは、年齢によって違います。40代、50代は禁煙や運動などによって生活習慣病を予防することです。60歳を越えると、日常生活そのものをアクティブに送ることが大切。健康を維持してどんな生活をしたか考えることが重要です。

などは当然ながら、健康で病院にかからないのが一番です。そのため知恵・努力が必要です。

日	内 容
1月4日	仕事始め
6日	出初式 参列
11日	白ゆり服飾学園・展示会参加
12日	まちなか元気サミット2008 参加
13日	オリーブ卒業生親の会、新年会・成人式参加
14日	成人式・街頭演説
17日	公明党香川県本部・新春の集い
22日	経営無料相談 勤務
23日	建設・水道常任委員会視察「市営住宅ストック活用 堺市」
24日	建設・水道常任委員会視察「市営住宅ストック活用 岡山市」
25日	道路特定財源・暫定税率廃止の影響調査(高松市)
29日	四国道路整備局による「道路特定財源」の勉強会
2月1日	「高松市の防災対策」の勉強会
6日	高松城跡整備・天守閣復元特別委員会 石垣解体工事の視察
8日	学校教育課による事業の説明
13日	建設・水道常任委員会 「市営住宅・水環境施設の整備」審査
15日	「高松市 都市計画マスタープラン」の勉強会
19日	公明党香川県本部 中小企業施策の勉強会
22日	自治基本条例を考える市民フォーラム 参加
24日	協同労働の協同組合法制化を求める地域市民集会参加
25日	建設・水道常任委員会 「耐震改修促進計画案」
27日	平成20年度予算の説明会
28日	平成20年度予算の説明会
3月5日	平成20年第一回定例議会 開会(26日閉会)
8日	クリエイティブ高松 講演会参加
14日	NPO法人INS香川～瀬戸内国際芸術祭を語るを主催
16日	一宮地域・墓の井出水公園清掃 ホタルを放流!
18日	弦打小学校卒業式 参列
26日	映画「めくみ」の上映会に参加
30日	4町パティオ 論文発表会参加
4月9日	勝賀中学校入学式 参列
10日	弦打小学校入学式 参列
11日	弦打幼稚園入園式 参列
19日	弦打地区・数送迎会に参加
21日	ピンクリボンかがわ県協議会主催映画「まゆ ココロの星」
25日	瀬戸内国際芸術祭の実行委員会設立総会 傍聴

●市民相談件数36件 ●相談累計162件

★日々の活動は「春田のブログ」をご覧ください。
<http://haruta.ptu.jp/blog>



携帯はこちらから

会計報告 収支調査費

平成18年度(5月～3月)

費 目	金 額
1 研究研修費	306,663
2 調査旅費	55,460
3 資料作成費	80,608
4 資料購入費	100,623
5 広報費	248,675
6 広聴費	0
7 人件費	0
8 事務所費	0
9 その他	0
合 計	792,029円

今まで報告してきた数字と差異がありますが、議会事務局によるチェックで区分の移動、金額の確定を行いました。平成20年度からは、高松市議会の政務調査費用は情報公開となり、全議員が1円から領収書を添付して報告することとなりました。

活動実績

皆さんからの要望が形になりました。



【紙町】ガードレールの設置

市民のHさんから、お年寄りや車が家の前の道路でよくに落ち込んで出られない、との相談を受け現地に急行。ガードレールを設置しました。



【香川町浅野】放置自動車の撤去

党員のMさんから、放置自動車が2台何年も放置されており危険であるとの要望を受け手配、撤去することができました。

【香川町浅野】ため池の悪臭

同じく党員のMさんから、香川病院東のため池から悪臭がひどくて団地の住民が困っているとの知らせを受け、市当局や県、土地改良へ折衝し水量を減らすなど対処をしていただきました。

○相談やお気軽の点がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。党員に限らず、どなたでも結構です。

春一番!

■ 集 後 記

司馬遼太郎の「草の上の雲」がドラマ化されるということもあり、再び本を読み始めました。国を想う志のある若き青年が戦い合いながら育ちゆき、日本を変えていく原動力になっていった時代が描かれており、今と何が違うのか?と改めて考えさせられました。豊かになりつつも「国や他者」に依存する心が蔓延し、集められた「大きな財布」を使わなければ損をするのが錯覚してしまっているのではないだろうか。「自分の財布」だと節約できるのに!



春田敬司 はるたけいし

昭和42年2月23日、兵庫県神戸市生まれ。国立高校工業高等専門学校機械工学科卒。(有)ジャストブレイン代表取締役(経営コンサルタント)。平成19年4月高松市議会議員初当選。座右の銘は「海せば成る」。



NEW KOMIITO
公明党

「春風の便り」 第3号

●発行者:高松市議会議員 春田敬司
●発行日:2008年5月(年4回発行予定)
●連絡先:〒761-8013

高松市香西東町14番地8
TEL087-842-5730